

或本の歌に云はく

二六〇番

天降りつくあも 神の香具山かみかぐやま うちなびくはる 春さり来く
れば 桜花さくらばな 木のくれしげにこ 松風まつかぜ に 池波立いけなみた ち
辺へつへには あぢむら騒さわき 沖辺おきへには 鴨かもつま呼よ
ばひ ももしきの 大宮人おほみやひとの まかり出でて 漕こぎ
ける舟ふねは 棹さかぢも なくてさぶしも 漕こがむと思おも
へど